

平成21年10月23日

各位

上場会社名 株式会社 ニッカトー
 代表者 代表取締役社長 西村 隆
 (コード番号 5367)
 問合せ先責任者 取締役総務部長 紀ノ岡 隆一郎
 (TEL 072-238-3641)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円未満四捨五入)

平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,880	23	61	29	2.43
今回発表予想(B)	2,656	27	92	42	3.52
増減額(B-A)	△244	4	31	13	
増減率(%)	△7.8	17.4	50.8	44.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	—	—	—	—	—

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,000	255	300	140	11.74
今回発表予想(B)	5,600	59	150	60	5.03
増減額(B-A)	△400	△196	△150	△80	
増減率(%)	△6.7	△76.9	△50.0	△57.1	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	7,295	504	539	123	10.29

平成22年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,730	22	60	29	2.43
今回発表予想(B)	2,544	9	69	27	2.26
増減額(B-A)	△186	△13	9	△2	
増減率(%)	△6.8	59.1	15.0	△6.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年3月期第2四半期)	4,080	559	576	334	27.80

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,700	252	298	140	11.74
今回発表予想(B)	5,380	40	125	50	4.19
増減額(B-A)	△320	△212	△173	△90	
増減率(%)	△5.6	△84.1	△58.1	△64.3	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	7,137	701	738	281	23.44

修正の理由

1)当第2四半期連結累計期間

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、昨年からの急激な経済環境の悪化も輸出関連業等の一部に回復の兆しが見られることや、在庫調整の進展に伴い、ようやく景気に回復基調が出てまいりました。しかしながら、雇用情勢の悪化に伴う個人消費の落ち込み、依然として冷え込んでいる企業の設備投資動向、為替相場の円高進行等、未だに景気の先行きに対する不透明感が払拭できず、厳しい景気状況が続いております。

このような経営環境の中、当社グループは積極的な営業活動を展開してまいりましたものの、売上高は当初予想には及ばない業績見込みであります。しかしながら、一方の利益面では、経費の節減効果や雇用安定助成金等の営業外収益の大幅な増加で当初予想を上回る見込みであります。

2)通期

通期の業績につきましては、今後の需要動向等の先行きが不透明で、本格的な売上の回復は期待できず、また生産設備増強に伴う減価償却費等の大幅な費用増加が第3四半期以降に見込まれることから、業績は厳しいものと考えており、当初計画を下方修正いたします。

※業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

※当社は、平成21年3月期第3四半期より連結財務諸表の作成を始めたため、平成22年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正の(ご参考)前期第2四半期実績については記載しておりません。

以上